

所弓便

第 2 号

所沢市弓道連盟会員 293 名

年頭にあたって

—初射会・新年会挨拶より—

会長 新家 透

平成 22 年 1 月 10 日に開催されました埼玉県弓道連盟の初射会に参加しましたが、その折、六段三名嶺さん、石川さん、松寄さん、錬士三名増田さん、八木さん、熊井さんが昇段昇格の祝福を受けられました。

その場で何人もの方から、所沢は、すごいね！と、声をかけて頂きました。自分の事のように大変嬉しく思いました。

昨年は、三十人弱の方々が、昇段昇格されました。ここ数年を見ますと、最多人数と思います。

今年もきっと多くの方が、昇段昇格されることが期待しています。

「一箭有心」

先日、山本博さんと云う、アーチェリーのオリンピック銀メダリストがラジオ番組のゲストでお話しされているのをお聞きました。

アーチェリーでは、三本ずつ矢を撃つそうですが、(射るではなく、撃つと云っておられました)一本目が上手くいった時の二本目、また、二本目が上手くいかなかった時の三本目、色々な状況での二本目、三本目の気持ちの持ちようを話されました。要旨は、「二本目に臨む時の一本目は過去であり、三本目に臨む時の二本目も過去である。過去に囚われることなく、今の矢に集中しなさい。」といった事でした。

「尽誠」

先日、ドラマを見ていた時、耳に付いた言葉があります。書き取って、後で調べましたところ、

イギリスの詩人でアルバート・パインと云う人の言葉でした。それは、「自らのための行いは、死とともに消えるが、人や世界のための行いは、永遠に生き続ける」と云うものでした。

理事長を始め、連盟の各役員の皆さんも、自分のためだけでなく、連盟のために頑張ってもらっています。自分も、出来るだけ、この言葉を思い浮かべながら、今年一年を過ごしたいものと思います。

年頭にあたり会員皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念してご挨拶といたします。

全日本弓道連盟創立六十周年記念式典

10 月 17 日に京王プラザホテルにおいて全日本弓道連盟六十周年記念式典が行われました。

所沢市弓道連盟から、橋田榮次範士八段が功労者表彰を受けました。

埼玉県弓道連盟創立六十周年記念式典

11 月 29 日に埼玉県立武道館において埼玉県弓道連盟創立六十周年記念式典が行われました。

所沢市弓道連盟から、粕谷吉一教士六段が優秀選手賞、草賀 淳前西部支部長、見原重信元西部支部長、本橋民夫県副理事長、立和修治県審査委員会副委員長、新家 透県総務委員会HP担当、賀来寛人スポ少事務局、賀来弓子スポ少責任者が功労賞を受けました。

午後からは記念大会として射礼支部対抗戦が行われました(結果は競技部競技会に掲載しています)。

∞ 各部報告 ∞

総務部

所弓連会員数

1 月 31 日現在の会員数は 293 名です。

今年度新たに、初心者教室修了生 10 名、スポーツ少年団関係 19 名、そのほか 9 名、計 38 名が入会されました。

10 月以降新たに入会された会員

野元 栄子

昇段・昇格

(10 月 5 日以降 2 月 14 日現在)

教士 故 清水 昌山 先生 (追授)

昇段、昇格おめでとうございます。

錬士 八木 繁 熊井 紀一

四段 中村徳海

参段 塩島佳代

式段 金子暁彦 松本裕子 安江仁美 黒木智哉
黒木宝子

初段 小山 等 松尾みどり

武道館道場矢道の補修工事

平成 5 年に市民武道館が完成して早、16 年が過ぎました。

武道館弓道場は、我々所沢市弓道連盟の会員が利用するのは元より、所弓連が所属する埼玉連西部支部が主催する大会、講習会、審査会等の行事では必ず利用される拠点になっております。

永年の風雨に耐えかねて近年は矢道の人工芝の痛みが激しく、所々破れたり剥がれてめくれたり、春の強風で巻き上げられた埃が積もりへドロ状に成った所など、痛みが目に見える状態になって来ました。

そこで、21 年の秋「所弓連会員の要望」として、武道館所長に矢道補修のお願いをしました所、武道館としても年度毎に補修箇所や予算が有り、優先順位が有る中で特別の計らいを頂き、11 月 19, 20 日と 29, 30 日それに 12 月 20 日 (武道館休館日) の 5 日間に渡り、専門業者による補修工事をやって頂きました。

業者の話では、見積り時に考えていた事と、実際は大違いで、芝の中のへドロがしつこく取れにくかった事と量の多さ、それに水はけの悪さ等、困難を極めたようです。

お陰さまで、矢道がすっかり綺麗になり、今年

初めの武道館道場の行事である、「寒稽古」も厳しい寒さの中でも清々しい気持ちで稽古が出来た事と思います。

22 年度も、所弓連の行事や埼玉連西部支部の行事等ほとんど毎月のように行われますが、道場が綺麗に成ったと云う事は、他の連盟の弓友を迎えるにも気持ちの良い事で有ります。

神社道場矢道の整備

昨年の神社道場矢道整備の概要を報告します。平成 22 年も昨年に倣って気持ち良く弓が引けるよう指定管理者として神社道場の維持管理に努めますからご協力をお願いします。

① 平成 21 年 2 月 5 日

冬枯れの矢道に雑草の新芽があちこち顔を出す。藤田三吉先生にお願いし除草剤を調合してもらい、散布は 30 分程で済んだ。着花前の除草効果に期待したい。

② 3 月 17 日

春彼岸前ともなると雑草の生育は活発になり、二回目の除草剤を撒く。

③ 4 月 23 日

カタバミの葉は黄変し、一旦成長が止まったように見えるが、また勢いを盛り返す。ホトケノザの根は弱り、簡単に抜けて除草効果が確かにあったよう。

三回目の除草剤を撒く。

日ごと気温が上がり、青々と逞しく生育する矢道の芝生は見えて気持ち良いが、一方、カタバミは地下茎を縦横に伸ばし、先端に黄色い花をつけ始めた。鞘が弾け周囲に種子を撒き散らす厄介ものだ。

④ 5 月 20 日

多くの会員の協力をいただき近的場矢道芝刈りと遠的場の草とりをする。お蔭様で、作業は順調にはかどった。

⑤ 7 月 8 日

近的場矢道芝刈りと遠的場の草とりを行う。梅雨入りは 6 月 10 日。不順な天気が続いたが、

梅雨の合間に芝刈りを行う。

あづち近辺の芝は異種で厄介な芝、盛り上がり繁茂する。

5月の芝刈りから数えて 50 日目。雨が降り気温が高め推移から、芝は伸び放題。機械の刃が滑り、2度刈りの作業を強いられ手間取る。11 時前、雨が降り出したのでエンジンを止める。次回は早め対応としたい。

⑥ 7 月 29 日

高温多湿のこの時期、芝刈りは 20 日目安が理想で、この日の作業はしやすかった。

⑦ 8 月 28 日

芝刈りと遠的場の草とりを行う。これくらいの芝の伸びだと、芝刈り機にやさしく、作業もはかどる。年内もう一回やれば良さそう。

⑧ 10 月 21 日

11 月下旬開催の武州大会に備え、年内最後の芝刈りと草とりを行い越年とする。

指導部

定期講習会

9 月以降 12 月までの講習会受講者数。

橋田教室 (毎月第 1 木曜日、第 3 土曜日)

受講者延 59 名

土曜講習会 (手島先生) (毎月第 2 土曜日)

受講者延 34 名

水曜講習会 (見原先生) (毎月第 4 水曜日)

受講者延 49 名

四段以下講習会

10 月 3 日 受講者 17 名

1 月 31 日 受講者 19 名

寒稽古

1 月 7 日から 11 日の 5 日間寒稽古実施。

武道館延 72 名、神社道場延 72 名の計 144 名が参加しました。

初心者教室年 2 回開催に

平成 22 年度からは、会員数の拡大と市民の健康育成に資するため初心者教室を年 2 回開催することにします。

1 回目は今まで通り 5 月下旬から武道館で毎週土曜日午後 1 時から 5 回開催します。

2 回目は 9 月から神社道場で毎週水・金曜日の夜 7 時から 10 回開催いたします。

多くの方々の参加が頂けますように、家族、親戚、友人、知人、お隣ご近所に声を掛けるなど会員皆様のご協力を是非お願いいたします。

競技部

競技会成績

【10 月】

3 日 月例射会 (参加 40 名)

近的

1 位 粕谷吉一 下田 徹 新家 透 チーム

2 位 小山 等 市川幸江 小林康則 チーム

3 位 藤原敬一 鈴木 孝 奥富秀乃 チーム

24 日 国体記念射会 (日高)

団体の部

1 位 永田欽一 下田 徹 星川三樹男チーム

2 位 中村徳海 土井政明 土井恵美子チーム

個人の部

1 位 粕谷吉一 2 位 中村徳海

3 位 星川三樹男

25 日 第 33 回県連女子部弓道大会 (上尾)

3 段以下の部

優勝 土井恵美子

【11 月】

8 日 三道大会 (武道館 108 名)

団体の部

小・中学生の部

1 位 西原郁哉 花崎怜奈 市川仁美 チーム

2 位 林 雅茂 國本 葵(2名) チーム
 3 位 大石和紀 内海隆太 宮本莉緒 チーム
 高校生の部

1 位 所沢高校 A
 小山慎平 市川陽平 小野田隼 チーム
 2 位 所沢商業 A

荒井 晶 杉田 巧 松野恵太 チーム
 3 位 所沢北高 B
 野中惇平 千合 航 鎌仲佑允 チーム

個人の部

小・中学生の部

1 位 國本 葵 2 位 宮本莉緒 3 位 鈴木波流
 高校男子初級の部

1 位 松本大和(所沢商) 2 位 大野正瑞 (所沢北) 3 位 菖蒲沢恒平(所沢高)

高校男子上級の部

1 位 荒井 晶(所沢商) 2 位 鎌仲佑允(所沢北)
 3 位 市川陽平(所沢高)

高校女子初級の部

1 位 武繩優里(所沢高) 2 位 原 千夏(所沢商)
 3 位 茂垣舞子(所沢商)

高校女子上級の部

1 位 長島瑛美(所沢北) 2 位 安達野々子(所沢)
 3 位 鈴木やわら(所沢高)

総合優勝

長島瑛美(所沢北高)

22 日 武州弓道大会 (神社道場 315 名)

6 位 増田裕子 7 位 粕谷吉一 9 位 甲斐久歳
 24 位 元田郁男

23 日 平成 21 年度埼玉県武道大会 (上尾)

中学の部 個人

特別賞 天池颯太

一般の部 女子

準優勝 増田裕子

29 日 埼玉県弓道連盟創立六十周年記念大会 (上尾)

持的射礼の部

3 位 西部支部

嶺美智子 松寄恭子 石川淳子 平山夏子
 黒木昭州(新座)



【12 月】

6 日 西部支部納射会

3 段以下の部

優勝 澤田靖子 3 位 土井政明

4・5 段の部

3 位 中村徳海

称号の部

優勝 粕谷吉一

13 日 所沢市弓道連盟納射会 (武道館 82 名)

参加者の星座を基に 3 人 1 チームに編成。色的による点数制にて競技を行った。

団体の部

1 位 塩島佳代 林雅 茂 三好啓子 チーム

2 位 小林康則 吉田万里映 八木 繁 チーム

3 位 岩村優子 栗原大智 松寄恭子 チーム

個人の部

1 位 松寄恭子 2 位 下田 徹 3 位 岩村優子
 遠近 1 本勝負

1 位 小山和枝 2 位 西原郁哉 3 位 藤原 良

【1 月】

1 日 元旦百射会

(参加総数 22 名 内 100 射修了者 17 名)

- 1 位 下田 徹 92 中 2 位 山田大介 86 中
 3 位 粕谷吉一 86 中 4 位 中村徳海 64 中
 5 位 甲斐久歳 61 中 6 位 星川三樹男 58 中
 7 位 土井政明 54 中 8 位 元田郁男 52 中
 9 位 中根幸二 45 中 10 位 小林康則 45 中
 (2 位、3 位は同中終了時間の差)

24 日 西部支部初射会 (武道館 120 名)

- 3 位 粕谷吉一 4 位 中村徳海

年の初めの運だめし・弓道連盟が新年初射会

— 一日刊新民報記事転載 —

所沢市弓道連盟 (新家透会長) は 1 月 17 日、熊野神社市弓道場と社務所で新年初射会と新年祝賀会を開催した。

神前拝礼につづき、新家会長が「去年は 30 人弱の方々が昇段昇格されました。ここ数年を見ても最多人数と思います。今年も多くの方が昇段昇格されることを期待します。先日ラジオで、アーチェリーのオリンピック銀メダリスト山本 博さんの話を聞きました。話の要旨は「過去に囚われることなく、今の矢に集中しなさい」といったことでした。今日は「一箭有心」、一手は厳かに、余興では年の初めの運だめしという気持ちで、是非金的を射止めてくださいと挨拶し、来賓の並木正芳顧問からもご祝辞を頂いた。

次に、昇格者 (錬士 3 名、六段 3 名) へ記念品授与、元旦に行われた百射会の成績発表ののち、厳粛な雰囲気の中で、新家会長による「矢渡し」が行われた。

このあと、参加者による一手祝射が粛々と行われた。そののち直径 9 cm と射止めるのが大変難しい、金的、扇的 (金の的と白扇に日の丸を描いた的に誰が一番早く当てるか) といった初射会恒例種目が和気あいあいと行われた。

余興金的

天位 松尾みどり 地位 星川三樹男
 人位 藤田 良 賞 中根幸二 賞 小林康則

余興扇的

天位 黒木智弥 地位 天池幹太 人位 元田郁男
 賞 賀未寛人 賞 竹下 眸

午後からは同神社社務所で当麻よし子市長、並木顧問、三上嘉徳宮司、中野健治氏子会会長の来賓のご出席を頂き新年祝賀会が行われた。

なごやかな歓談の中、声楽家でもある松尾みどりさんにより「鉦を納めて」の独唱が飛び入りで披露され、力強い歌唱力に会場から盛んな拍手がおくられ、祝賀会は一層もりあがった。また弦友会幹事元田郁男さんの先導で替え歌「美しき 60～70 代」を参加者全員で歌い、和やかな雰囲気の中で懇親を深めあった。

所弓連の高齢者をたたえる歌

美しき 60～70 代 (元歌三田 明 美しき十代)
 替歌作詞・元田郁男

(甘ずっぱい青春の思い出)

- 1、 白い野ばらを 捧げる僕に
君の瞳が あかるく笑う
いつも心に 二人の胸に
夢を咲かそう きれいな夢を
美しい十代 ああ十代
抱いて生きよう幸せの花

(現在は)

- 2、 昨日習った射法を胸に
修行続ける弓の道
つらい日もある泣きたい時も
あるさ それでも励ましあって
たくましい 60 代 ああ 70 代
抱いて咲かそう 弓道 (ゆみ) の花

∞ 投 稿 ∞

武州弓道大会

— 一体協だより第 83 号記事転載 —

平成 21 年 11 月 22 日(日)、所沢市弓道場(熊野神社境内)において、恒例の「熊野神社弓祭・武州弓道大会」が開催されました。午前中は時折雨のぱらつくあいにくの天気にもかかわらず、近隣都県より老若男女 315 名という大勢の弓友の参加を得て、寒さを吹き飛ばす熱い戦いが繰り広げられました。



この武州弓道大会は昭和 40 年に、所沢および近郊の弓道愛好家により、日ごろ培った技を競い、体育の向上と豊かな社会生活を願って始められて以来、今年第 42 回を迎える歴史のある大会で、その名の通りこれまで関東一円から大勢の名選手が集い、その優れた技に接し、お互いに大きな感動と影響を受けて参りました。お蔭で所沢の弓道熱も盛んになり、約 300 名という全国でも屈指の会員数を擁する規模に発展し現在に至っております。

当日は的中するごとに大きな歓声が湧く中、参加者 315 名のうち 4 射 2 中以上の 142 名が予選を通過。決勝は、的を外した者はその場で退場し、最後まで中(あ)て続けた者が勝者となる「射詰め(いづめ)」という方式で行われました。決勝 1 回目、2 射連続的中で勝ち上がった 39 名が、上位入賞を目指し、2 回目、3 回目と大熱戦を繰り広げました。

優勝は、若い力を存分に発揮して飯能高校の渡邊神人選手。その他 25 位までの入賞者が、竹弓、竹矢や矢筒など豪華な賞品を獲得して大喜び。また来年の再会を約して無事お開きとなりました。

スポーツ少年団

賀未寛人

平成 21 年度の所沢市弓道スポーツ少年団活動では、7 月 18 日秩父市営弓道場にて開催されました第 22 回県民総合体育大会弓道競技中学の部女子において所沢市弓道スポーツ少年団 C(西川小枝子、大石舞衣、小野田沙樹)が第 1 位になりました。この大会は 8 月の全国中学生弓道大会の予選会を兼ねており、埼玉県代表(女子団体)に選ばれました。今年で 6 回を数える中学生大会ですが、第 5 回大会では所沢市弓道スポーツ少年団から男子個人(菊池康仁)が優勝・技能優秀をいただいていることから期待がかかりました。結果は予選敗退に終わりましたが大会までの 1 ヶ月間毎日厳しい稽古をしてきた選手達にとって非常に良い経験になったことと思います。



10 月 25 日には第 4 回所沢市スポーツ少年団弓道交流大会が市弓道場にて開催をいたしました。今回は第 50 回青少年団道大会記念特別賞があり争奪戦を実施いたしました。

秩父市弓道スポーツ少年団や朝霞市弓道連盟の小中学生が参加し総勢 56 名の参加となりました。開催にあたり多くの連盟会員に協力いただきました。ありがとうございました。



平成 21 年 11 月 29 日 (日) 埼玉県立武道館にて埼玉県弓道連盟創立 60 周年記念大会が開催されました。射礼支部対抗戦では西部支部として所弓連からも選ばれた選手が緊張した面持ちで競技に参加しておりました。素晴らしい射礼でした。



式典において賀来寛人・弓子が功労賞をいただきました。スポーツ少年団育成での推薦をして頂きました。日頃より所沢市弓道スポーツ少年団活動に支援・協力していただきました所沢市弓道連盟の方々に深く感謝しております。

所沢市弓道スポーツ少年団の歴史は古く、昭和 42 年には、弓道の実技と礼法を習得し、団体生活による健全な精神を養うことを目的に所沢中学校弓道部員で結成され、弓道スポーツ少年団は全国 2 番目の発足であったと聞いております。特に故教士六段金子登先生が、育成に意を注がれました。私も中学生より弓をはじめ、金子先生に指導していただきました。所沢市弓道スポーツ少年団は一

時活動を休止しておりましたが、再結成し、今年で 8 年目を迎えております。

所沢市弓道スポーツ少年団の対象は小学 5 年生から中学 3 年生、指導方針として、

- 1、健全育成のため、精神鍛錬、礼儀作法の習得を目指し、思いやりのあるやさしい子になるよう指導する。
- 2、競技大会等に出場し、集中力、決断力、団結心を養う。
- 3、レクリエーション、少年団交流会などで、親睦を広げ社会性を養う。

としております。

現在、団員は 33 名で活動しております。卒団後も高校の弓道部に入り活躍をしております。今年はスポ少を卒団して成人を迎えた子どもたちもあり、成人祝射会も開催予定であります。

(スポーツ少年団とは)

スポーツ少年団は、1962 年に財団法人日本体育協会が創設した歴史あるスポーツクラブです。「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に!」と願いつくられました。約 21 万人の指導者と、約 90 万人のスポーツが大好きな仲間たちが、スポーツ少年団に登録しています(平成 20 年(弓道)全国で 19 団体 422 人 埼玉で 2 団体 83 人)。

所沢市スポーツ少年団は、市内の青少年を対象として、昭和 39 年に創立されました。平成 20 年度現在では、14 種目、団員 2,385 名・指導者 576 名の方がスポーツ少年団に登録しています。

その登録種目は、サッカー・野球・剣道・ミニバス・バレーボール・空手・ラグビー・合気道・バドミントン・なぎなた・新体操・柔道・卓球・弓道の合計 14 種目です。

弓道は、昭和 42 年に結成…平成 15 年から弓道連盟を支援母体として再スタートしました。

♪~♪~ COFFEE・TIME ♪~♪~

まもなく芝刈り、除草剤散布等のシーズンとなります。

最近では参加者が減少傾向にあります。作業内容としては、芝刈り機の操作以外はほとんど軽作業です。「刈った芝の袋詰」「雑草をとる」こんな感じで約 1 時間くらいですかね。

参加者の多くは 60 才以上の方が大半ですが、毎回ご高齢の方々も元気に参加して頂いております。 **!! 感謝 !!**

快適な環境で楽しく「弓」がひけるよう皆さんのご協力をお願いします。

Mr. KaTaBaMi

昇段・昇格者よりの寄稿

日々の稽古

嶺 美智子

昨年 10 月、思いがけず六段に昇段することができました。これも、多くの先生方のご指導と、日々道場で共に稽古しています先輩や弓友の皆さんのお陰と感謝しております。

その頃、埼弓連 60 周年大会の支部練習会があり、歩き方から目づかい、息合いに合わせた動作など、基本に立ち返っての稽古が大変勉強になりました。

日々の稽古では最初の一手を大切に集中して行射するよう心がけました。体配・射においては注意されたところを意識し、特に体配ではなるべく同じ注意を受けないよう稽古しました。「常に意識することで、それがだんだん身についてきます」と教えて頂いたことがあります。身につくまでには時間がかかりますが、意識して稽古することが大切だと思いました。

六段をいただいてから時間が経つにつれ、その重みに、これからは大変という思いが大きくなっています。

講習会で、紹介して下さった弓道教歌があります。

弓道教歌(小笠原)

常々の 稽古を 締めてする人は
晴なる時も 心迷わず

審査や射会など晴れの場合、平常心で行射するのはとても難しい事ですが、少しでも心迷わず引けるよう、これからも日々の稽古を重ねていこうと思っています。

(昇段寄稿)

石川淳子

“人生 80 年”と言いますが、私はその半分近くを弓道と一緒に過ごしてきました。

私が弓道を始めたのは 13 歳。所沢中学校の弓道部に入部したときです。松寄恭子さんとはその頃からの弓友です。中学卒業と同時に連盟に入会。

高校生のときは授業が終わると即道場へ稽古をしに行き、そして帰宅。毎日がその繰り返しでした。

今は亡き金子登先生に師事し、厳しい指導ではありましたが、しっかりと基本を教えていただき、私の射の基礎が出来上がりました。

沢山の先輩・後輩達と楽しく弓を引いていく中、国体で勝利した先輩たちがいました。自然と勝つことへの憧れを持ち、稽古に励みました。試合で負けた自分を振り返って反省するときこそ、射が上達する一番大事なときだと思います。

昨年 10 月、六段に合格するまで 36 年。

その間沢山の先生方、諸先輩方にお世話になりました。感謝の気持ちを忘れずに、これからも弓道に精進し、さらに上を狙っていきたいと思います。

私は礼節を重んじる弓道が好きです。何事にも動じず、平常心を保って弓を引いていきたいです。

錬士昇格に際し

増田裕子

とにかく、「審査は苦手」ほんとに苦手意識が大きくて、いつものように引けない！楽しくない！と感じていました。

一番の悩みは、跪坐の時に脚がしびれてしまう事です。

自分の立ちまで足がもちません。やっとの思いで、立ち上がる始末、これでは、力を出し切ることなど出来るわけもなく、何度も失敗を繰り返しました。

練習不足？暇をみつけては、道場でも、家でも座る練習をしましたが、やっぱりダメです。

ああこれは、脚の筋力が落ちているのだと気がつくまで時間がかかりました。

そこで一念発起して脚のトレーニングから始め、半年かけて足腰を鍛え、体重も減らしました。

そして迎えた今回の審査、持ち的の時の立ち順は落ちです。いつもなら、諦めてしまうところですが、気落ちせず、集中していつもの練習のように、自信を持って引くことができました。

次は六段審査に挑戦です。このままなお練習を重ね、頑張ります。

弓道修練

八木 繁

11月8日の明治神宮錬士審査は800名を超える受審者で開始時間が30分繰り上げで実技開始は午前9時、私の実技は午後3時頃。集中力を維持するのは容易ではありませんでしたが、一ヶ月前に同じ会場で受審したことが幸いしてか、普段の稽古でもあまりでないような軽い離れが甲矢乙矢とも的の中心の近くをとらえ、初めて一次をパス。

二次の持的も同じように暗い中に照らし出された的的中し、あきらめていた『錬士』を射止めることができました。

平成3年の初心者教室修了以来18年、錬士審査挑戦16回。体も頭も硬く運動神経の鈍い私がよくここまで来たものだと思います。

ひとえに橋田先生、手島先生はじめ多くの先生先輩の皆様の熱心なご指導の賜物と心より感謝しております。

『急ぐな あわてるな のろくとも 今を見つめて 前へ進もう』

古沢範士が弓道誌にお書きになった此の言葉をいつも思い出すとともに『人に勝つより己に克つ』を自分に言い聞かせ一進一退の稽古を続けておりましたが、最近になって『胴造り』の重要性を認識し、手の内が少しづつ柔らかくなり手先の力が抜けてきたように感じてきた矢先の事でした。

教本を読み直し、一射一射丁寧にひいて、錬士として恥ずかしくない射が出来ますよう一層の修練、稽古に励む覚悟です。

昇格に当たって (私と弓道)

熊井紀一

昨年の12月20日、錬士の称号を戴きました。

これもひとえに、日頃の弓道仲間の皆様の暖かいご支援と応援のおかげと感謝しております。有難う御座いました。

弓道を始めて今日まで18年4ヶ月の歳月を要しました。

49歳の時に身体を悪くし、医師より運動を制限され何をしようかと思案していた時、進められたのが弓道でした。

平成3年の弓道教室に入れて頂き、2年6ヶ月で4段まで昇段する事が出来ました。

それからが大変でした。その後の昇段も簡単に出来る、と安易に考えていた結果が、5段を戴いたのが4年7ヶ月、更に錬士昇格まで12年3ヶ月かかりました。

4段取得から錬士取得まで実に16年10ヶ月を要しました。

錬士は戴いたもののまだまだ射法、射技も未熟です。

これから先も諸先生方の指導をお願いする事はもちろん、皆様方のご支援、ご鞭撻を更にお願ひする次第です。

私も今後更に弓道に精進する為、常に初心を忘れず、頑張りたいと思います。
何卒宜しく願いいたします。

所弓連 10 年のあゆみ

— 埼玉弓連 60 周年記念誌原稿転載 —

平成 11 年 4 月、鈴木 博会長の跡を継ぎ、
第八代草賀淳会長が就任。
同年 6 月、第 50 回全日本弓道遠的選手権大会で
粕谷吉一選手が連続 14 射を詰め優勝。
平成 13 年 3 月、橋田榮次範士が昭和 46 年出版の
「現代の弓道」の改訂増補版を出版。6 月に出版
記念射会開催。
平成 16 年 1 月、所沢弓道の発展に対する貢献が評
価され、日本武道協議会より「武道優良団体」の
表彰を受けた。7 月に祝賀会開催。
平成 19 年 11 月、武州弓道大会第 40 回記念大会が、
歴代 2 位となる 441 名の参加を得て盛大に開催
された。
平成 20 年 8 月、全国中学生大会でスポーツ少年団
の菊池康仁選手が個人優勝。
同年 11 月、所弓連創立 50 周年記念祝賀会を開催、
同時に 50 周年記念誌を発行。
平成 21 年 4 月、草賀会長勇退。第九代新家透会長
が就任。
同年同月、所沢市と熊野神社道場の指定管理者
契約締結。
同年 10 月、会の動向やトピックスなどをまとめ
た会報「所弓便」創刊号発刊。

∞ お知らせ ∞

利用者名簿の記入とアンケートのお願い

前号でお知らせした通り、今年度より所弓連が
所沢市から神社道場の指定管理者に正式に委任さ
れたことにもなつて、道場の利用者数を毎日カ
ウントしています。

4 月から 12 月までの延べ利用者数は 12,054 名、

1 日当たり平均利用者記入数は、午前 20 名、午後
9 名、夜間 15 名の計 44 名となっています。

午後利用者の実数は記載値よりも多いと想定さ
れます。午前から午後にかけて利用した場合は、
利用者名簿記入に際し午後の利用欄にも必ずチエ
ックをいれて下さい。

また、神社道場利用者の一層の利便を図るため
アンケートを行いますのでご協力お願いいたしま
す。

神社道場の錠前施錠についてお願い

神社道場の受託管理に伴う防犯上の観点から、
錠前をダイヤル式に変更しましたが、各位のご協
力により大きなトラブルも無く順調に推移してい
ます。

そこで、もう一つお願いです。

施錠に際し、4 桁のうち 1 桁だけ、または 1 桁
の 1 文字しか廻していないケースが時々見受けら
れます。施錠の確実性と安全性確保のため、ダイ
アル数字をランダムに回してください。

防犯、安全対策上「複数桁のリング」を「複数
数字」廻すようお願いいたします。

スポーツ保険加入のお願い

平成 22 年度のスポーツ保険は 3 月 1 日から受
付けを始めます。まさかの時の担保ですから全会
員が加入されるよう特段のご協力をお願いします。
4 月以降申込の場合は 100 円割高となりますから、
3 月中の加入をお勧めします。

申込み先は、神社道場は永田欽一さん、武道館
は井口恒夫さんです。

♪~♪~ COFFEE・TIME ♪~♪~

新春の矢道にツルが飛ぶ

1 月 17 日、所弓連新年初射会において、珍しい出来事がありました。

年頭挨拶のあと、射手 新家会長、介添 奥村幸二四段、廣瀬雅孝三段による矢渡が行われました。

厳粛な雰囲気の中、十分な持満ののち放たれた甲矢は、見事するどい弦音と共に心地よい的中音を響かせました。

行射は進み乙矢の会に入りました。そして離れの瞬間、弦が上がった音に続き、なにか異様な音が聞こえました。皆何が起こったのか一瞬わかりませんでした。第二介添の廣瀬さんが、ずっとように塚についた矢を抜き取るのに、なにか苦労している様子。よくよく見れば、なんと切れた長い弦が矢筈にしっかり食い込んだまま飛んで行っていたのです。皆あまりの出来事に呆然といった感じでした。しかし、射手の新家会長はあわてず騒がず、粛々と行射を終え、満場の拍手を浴びました。

新春の矢道に **ツル** が飛んだ、おめでたい？出来事でした。

∞ 会長月誌 ∞

- 4 月 25 日 13 : 00 ~ 熊野神社社務所
平成 22 年度所沢市弓道連盟総会
- 4 月 26 日 埼玉県弓道連盟評議員会 (21 年度役員人事外)
- 5 月 9 日 埼玉県弓道連盟理事会 (21 年度役員人事)
- 5 月 15 日 所沢市教育委員会 (新旧会長・理事長挨拶)

- 6 月 4 日 所沢市体育協会理事会 (21 年度役員人事)
- 6 月 7 日 朝霞市弓道連盟創立十周年記念祝射会
- 6 月 13 日 所沢市体育協会評議委員会 (21 年度役員人事)
- 6 月 22 日 所沢市スポーツ振興課 (神社道場及び遠的場の借地契約確認)
- 7 月 8 日 所沢市民武道館長歓送迎会
- 7 月 10 日 安全衛生委員会 (所沢市教育委員会所属の組織) の所沢市弓道場視察
- 7 月 10 日 中元挨拶 (熊野神社宮司、同氏子会長、西新井町会長、遠的場地主)
- 7 月 12 日 埼玉県弓道連盟総務委員会及びHP 員会
- 7 月 14 日 八雲神社 (熊野神社の摂社) 例祭
- 7 月 22 日 所沢市青少年三道大会打合会
- 7 月 23 日 所沢市体育協会理事会体育施設等推進委員会
- 7 月 26 日 (株)日刊新民報社インタビュー
- 8 月 1 日 盆踊り大会 (東・西新井町主催於熊野神社境内)
- 8 月 17 日 並木正芳 (名誉顧問) 後援会連合会世話人会
- 8 月 24 日 故三上知恵 (名誉会長ご母堂) 告別式
- 9 月 4 日 所沢市体育協会理事会
- 9 月 12 日 武道祭実行委員会
- 10 月 8 日 所沢市体育協会競技団体部会
- 10 月 9 日 熊野神社秋例祭
- 11 月 8 日 所沢市教育委員会教育長に所沢弓道連盟顧問就任依頼
- 11 月 28 日 埼玉県弓道連盟創立六十周年記念式典
- 12 月 5 日 並木正芳世話人会忘年会
- 12 月 14 日 所沢市青少年三道大会反省会
- 12 月 20 日 年末挨拶 (熊野神社宮司、同氏子会長、

東・西新井町町内会長、遠的場地主)

12 月 23 日 市民武道館利用者団体連絡調整会
議及び利用団体懇談会

1 月 7 日 故清水昌山先生通夜

1 月 8 日 故清水昌山先生告別式

1 月 23 日 第 3 会武道祭実行委員会

∞ お悔やみ ∞

心からご冥福をお祈りいたします。

・1 月 2 日、清水昌山（まさたか）先生が享年 88 歳でご逝去されました。

先生は米国のお生まれで、海外勤務含め長く海外関係のお仕事に携わっておられました。弓道は戦前の武徳会の有段者でしたが、所沢で弓道を再開されてからのご活躍には目覚ましいものがありました。小柄ながら古武士を思わせる豪快な射風は多くの人々の記憶に残るところです。一方で非常に勉強家で几帳面な面をお持ちで、弓道教本も内容別にご自分で立派なノートにまとめるなどされておりました。得意な英語力を買われ、審査会で外国人の筆記答案の採点を委嘱されたこともありました。流暢な英語を話す弓道人として外国人の弓友も多く、平成 18 年の国際弓道連盟の発足をとても喜んでおられました。

1 月 2 日付で教士号を授与されました。

・2 月 11 日、千葉 豊さんが享年 79 歳でご逝去されました。

千葉さんは、平成 14 年 5 月に入会され平成 19 年 5 月 13 日所沢市民武道館において二段に昇段されました。武道館道場の傷んだ的枠修理や的付け用角度計の製作など病の身をおして営繕活動にご尽力くださいました。

ご葬儀には、暖かいお人柄を慕い多数の同期の方がお手伝いに参加されました。

∞ 編集後記 ∞

今号から会長の活動内容を掲載しました。所弓連がどのように関係各所と関わっているのかがよく分かると思います。

併せて理事長の活動内容の掲載も検討しましたが、内容が仔細なため割愛いたしました。

なお、理事長は会長等が容易に活動出来るよう先になり後になり、或いは同時に活動されていることを会員の皆様にお知らせいたします。

編集委員 飯島稔凱 小林壽子 小林康則
山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第 2 号
発行日 平成 22 年 2 月 28 日
発行者 所沢市弓道連盟
会長 新家 透